

避難情報と市民の皆さんが取るべき行動

災害発生の可能性

避難準備情報が発表されたら



- ①避難の準備を始めてください。
- ②避難に時間がかかると思われる人は、避難を開始することができます。
- ③ご近所に避難が困難な人がおられましたら、声をかけてください。

避難勧告が発令されたら



- ①落ち着いて避難を開始してください。
- ②ご近所に避難が困難な人がおられましたら、必要に応じ避難の手助けをしてください。

避難指示が発令されたら



直ちに避難してください。

全市民が防災要員 ～みんなで助けあいましょう～

○隣近所で助け合いましょう

災害が発生した直後は、市や消防などが行う活動に限界があります。いざというときに、真っ先に駆けつけて助け合うことができるのは、向こう三軒両隣といわれる近所の方です。
日ごろから、隣近所とのコミュニケーションや、町内会、自主防災会の活動に積極的に取り組みましょう。



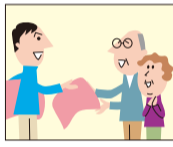
○2階への避難が安全な場合もあります

ひざのあたりまで浸水したとき、あるいは移動困難な高齢者や障害者などの方が、避難所へ移動することはかえって危険を伴います。
動くことを最小限におさえて、自宅の2階などへの在宅避難や、近くのビルなどへの高所避難のほうが安全な場合もあります。



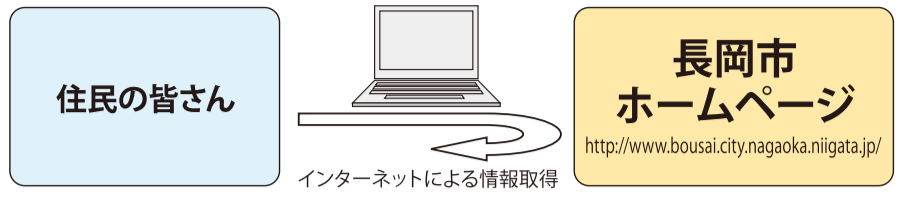
○みんなで協力 避難所運営

避難所の開設や運営は、施設管理者（学校関係者など）、市職員、そして避難者自身である住民が集まって、協働により行います。
災害時要援護者への支援や、物資の配布など、助け合いや譲り合いの気持ちを忘れずに、円滑な避難所運営を目指しましょう。

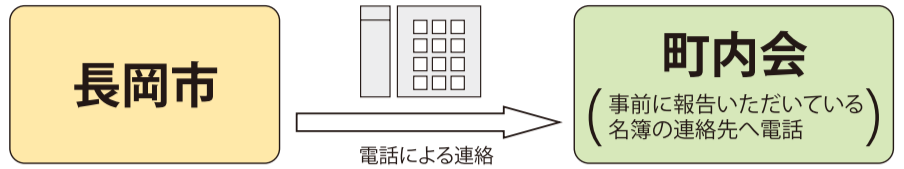


河川の水害警戒情報の伝達方法について

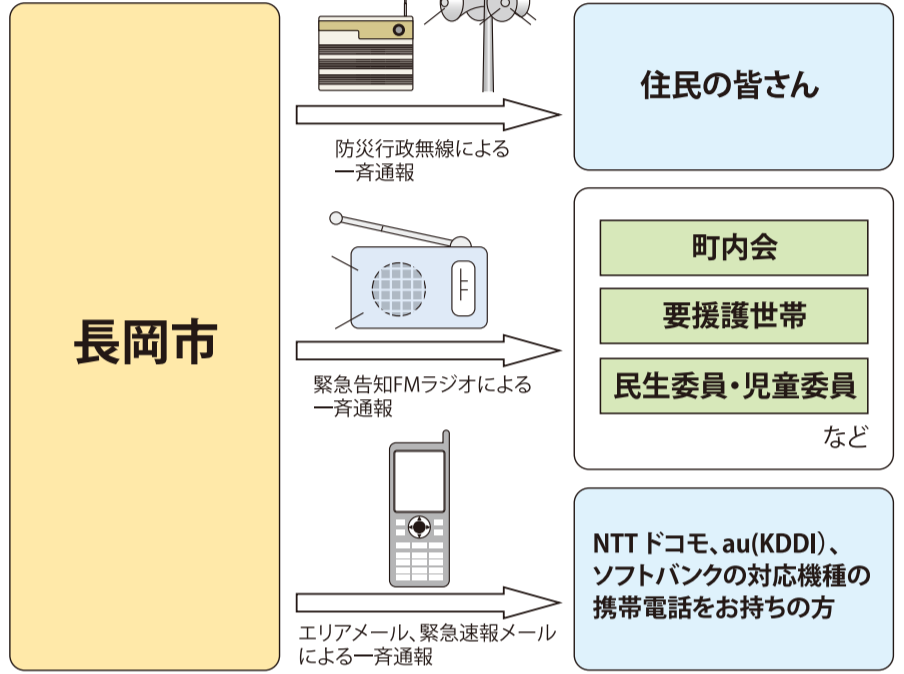
1 河川の水位や周辺の情報を知りたいとき



2 市から河川周辺の町内会へ警戒情報をお伝えするとき



3 緊急性の高い状況で、市から住民の皆さんへ一斉に警戒情報をお伝えするとき



洪水の起こり方

■外水はん濫 大雨により川の水位が上がり、堤防が決壊して川の水が流れ出る現象。



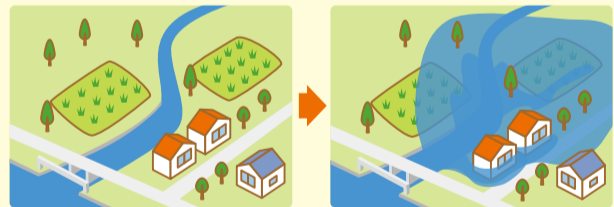
大雨などにより川の水が堤防いっぱいまで増えると、土でできた堤防に水の圧力がかかります。

さらに水が増え、水の力に堤防が耐えられなくなると、堤防の一部が崩れ始めます。

堤防の崩れた場所を通して勢いよく水が流れ出し、家におそいかかります。

■内水はん濫

大量に降った雨が、排水溝から川に排水されずに集落や田畑などにたまり、排水路などがあふれてしまう現象。



■局地的大雨(ゲリラ豪雨)とは?

限られた地域に対して短時間に驚異的な大量の雨が降ることを言い、局地的大雨ともゲリラ豪雨とも呼ばれます。地球温暖化による気候の変化等が主な原因とも言われ、急に強く降り、数十分の短時間に狭い範囲で数十mm程度の雨量をもたらす雨のことを言います。台風と違い予測が困難なため、地域によって洪水や土砂災害等の被害が起こりやすいのでご注意ください。



避難の心得について

○複数で避難・隣近所に声をかけましょう!

一人で避難すると、事故にあったとき非常に危険です。複数で避難し、隣近所に声をかけて行きましょう。



○お年寄りなどの避難に協力しましょう!

お年寄りや小さなお子さん、身体の不自由な方が、早めに避難できるよう、近所のみなさんは避難に協力しましょう。
特に、一人暮らしのお年寄りや病気の人は、ふだんからの気配りが必要です。



○危険な場所は避けて避難しましょう!

ガード下や、がけ地、堤防などを通るのは危険です。近道であっても避けましょう。橋を渡ることは避けて避難しましょう。



○土砂災害に注意しましょう

台風や集中豪雨などの大雨に限らず、雨が何日も降り続いた場合にも、土に大量の水がしみ込んで崩れやすくなります。
図のような前兆に十分注意し、危ないと感じたらできるだけ早く避難しましょう。

地すべり
地すべりの前兆
・地面にひび割れができる
・井戸や沢の水がにごる
・斜面から水がふき出す



がけ崩れ
がけ崩れの前兆
・がけからの水がにごる
・がけに亀裂が入る
・小石が落ちてくる
・がけから異様な音がする

土石流
土石流の前兆
・雨が降り続けているのに川の水位が下がる
・山鳴りがする
・立ち木のさける音、石のぶつかり合う音が聞こえる

気象情報(注意報・警報等)の発令基準

種類	発表の時期	雨量の基準			
		平坦地(1時間)	平坦地以外(3時間)	その他	
大雨	注意報	大雨によって災害が起こるおそれがある場合	30mm	40mm	土壌雨量指数が一定基準を超えた時
	警報	大雨によって重大な災害が起こるおそれがある場合	50mm	80mm	
洪水	注意報	洪水によって災害が起こるおそれがある場合	30mm	40mm	流域雨量指数が一定基準を超えた時
	警報	洪水によって重大な災害が起こるおそれがある場合	50mm	80mm	
記録的短時間大雨情報	数年に一度の猛烈な大雨によって災害の発生につながる事態が生じている場合	1時間			
		100mm			

■困ったときは…

内容	担当課	電話番号
連絡(相談)先がわからない	和島支所地域振興課	74-3112
河川が溢れそうだ	和島支所産業建設課	74-3114
土砂(崖)崩れが起きそうだ		
近所に避難が困難な人がいる	消防署	119
至急、救助に来てほしい		
電気のことについて	東北電力(株)	0120-175-366
水道のことについて	長岡市水道局与板営業所	72-2259